

2003 年 3 月 28 日

■企業経営予測調査 2003 年 3 月調査結果■

製造業を中心に2期ぶりに改善した神奈川県内中堅・中小企業の業況判断

(株)浜銀総合研究所(社長 遠山悌二郎)では、神奈川県内の中堅・中小企業を中心としたアンケート「企業経営予測調査」の2003年3月調査を実施いたしました。今般、同調査のなかで最も注目度が高いと思われます業況判断DIの集計結果がまとまりましたのでご案内いたします。

[要 旨]

神奈川県内中堅・中小企業の2003年3月末時点における業況判断DI(全産業ベース、業況が「良い」-「悪い」、回答社数構成比、%)は▲32となった。前回の2002年12月調査では、さらに3か月前の9月調査と同水準の▲39にとどまり、昨年初からの改善傾向が足踏みしたが、今回は再び7ポイントの「悪い」超幅の縮小となった。

今回の業況判断DI値を製造業、非製造業の別に分けてみると、製造業では自動車産業における好転を主因に前回12月調査の▲38から今回▲27へと11ポイント、非製造業ではサービス業での改善などから同▲40から同▲36と4ポイント、それぞれ「悪い」超幅が縮小した。

最近の県内景気は、所得・雇用環境の悪化から個人消費や住宅投資など家計の動きに弱さが目立つ一方、内外需が堅調な自動車をけん引役に製造企業の工業生産はやや持ち直しつつある。今回のDIの改善は、そうした製造業主導による企業セクターの活動水準の高まりを反映したといえる。

企業経営予測調査 2003年3月実施
四半期別(第127回)結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした840社(うち製造業334社、非製造業506社)
回収率 38.8%(回答企業326社 うち製造業147社、非製造業179)

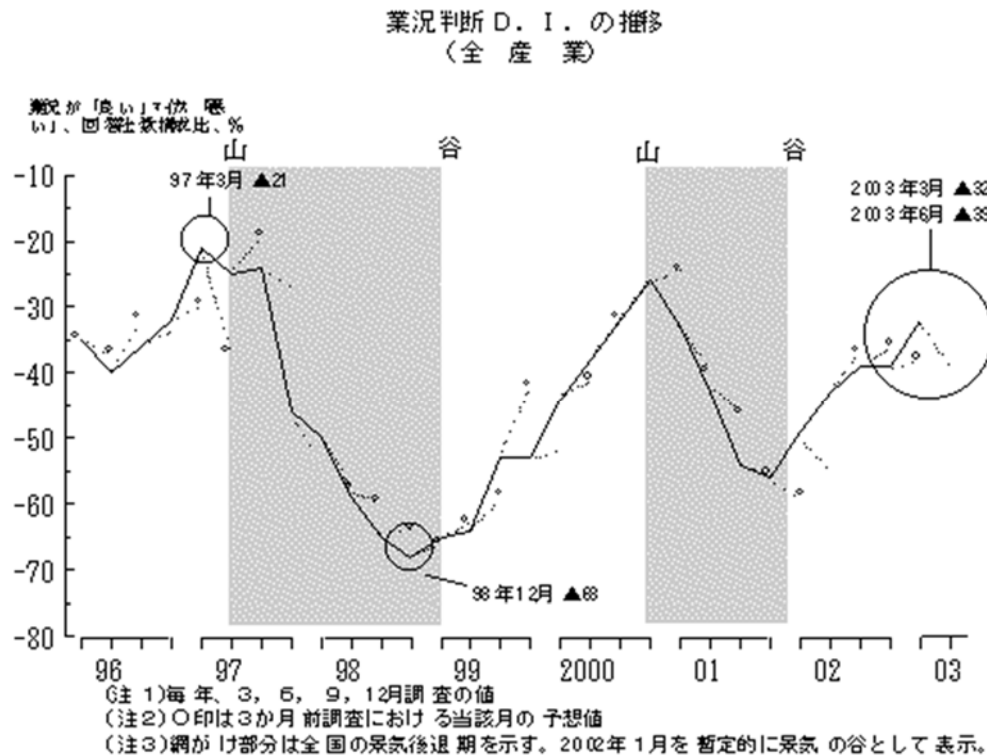
業況判断D.1 (2003年3月末)

2003年3月末における神奈川県内中堅・中小企業(全産業)の業況判断DI_(注)は▲32となった。これは前回2002年12月調査(▲39)に比べて7ポイントの改善である。

製造・非製造の別にみると、製造業は、前回調査の▲38から今回▲27と11ポイント改善した。輸送機械のDI値は+19と前回に比べて39ポイントの大幅改善となり、「良い」超幅に転じた。輸送機械のDIがプラスとなったのは97年3月調査以来。また、一般機械はほぼ横ばいで推移したほか、電気機械も前回12月調査時点における3月の予想値ほどの落ち込みはみられず、マイナス幅は縮小した。

一方、非製造業では、建設業はマイナス幅が拡大したものの、対事業所向けを中心としたサービス業などが改善したため、前回調査の▲40から今回▲36と4ポイント改善した。

(注)業況判断DI:業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%。



[3か月先の見通し]

2003年6月末時点の業況判断DIは、全産業で▲39と3月末実績(▲32)比7ポイント悪化する見通しである。

製造業では、電気機械はマイナス幅の縮小を見込んでいるが、輸送機械、一般機械などほとんどの業種で悪化予想となっていることから、「悪い」超幅は▲37と3月末比10ポイント拡大する。

非製造業では、建設、卸・小売、サービスなどで悪化を見込んでいることから、DI値は▲40と同3月末比4ポイントマイナス幅が拡大する見通しである。

足下の業況判断と3か月先の見通し
(業況判断 DI: 業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%)

区 分		2002 年 9 月末	2002 年 12 月末	2003 年 3 月末	2003 年 6 月末 (予想)
全 産 業		▲ 39	▲ 39	▲ 32 (▲ 38)	▲ 39
製 造 業		▲ 31	▲ 38	▲ 27 (▲ 32)	▲ 37
	電気機械	▲ 45	▲ 44	▲ 37 (▲ 44)	▲ 34
	輸送機械	▲ 4	▲ 20	19 (▲ 17)	▲ 10
	一般機械	▲ 24	▲ 39	▲ 40 (▲ 30)	▲ 50
非製造業		▲ 47	▲ 40	▲ 36 (▲ 42)	▲ 40
	建 設	▲ 54	▲ 47	▲ 62 (▲ 55)	▲ 64
	卸・小売	▲ 42	▲ 37	▲ 34 (▲ 39)	▲ 38
	サービス	▲ 52	▲ 40	▲ 20 (▲ 37)	▲ 29

(注)カッコ内は 2002 年 12 月末調査時点における 2003 年 3 月末予想である。

【本件についてのお問い合わせ先は、下記の担当までお願いいたします】

(株)浜銀総合研究所 調査部

八木、守谷

電話 045-225-2375(ダイヤルイン)